

主題説教のお知らせ

8月21日～10月23日にかけて、教会目標の聖句（ヨハネによる福音書17章3節）を基盤として、「永遠の命の希望」という主題で、10週連続で、主題説教をいたします。

その後、10月23日の礼拝後、共に御言葉の分かち合いとお互いの信仰生活を知り合い、理解を深める交流の時を持ちたいと思います。（コロナ禍の状況も踏まえて開催できるかどうかは未定です。）

わたしたちの人生の最期は死をもって終わります。しかし主イエス・キリストを信じる者は、死が決して終わりではないことを知らされております。主イエスは罪のゆえに死に向かっているわたしたちの罪を取り除き、御自身の命を与えるためにこの地上に来られました。主イエスの十字架と復活を信じる者は、皆キリストの命・永遠の命を与えられます。死の先にある希望をはっきりと見据えることによって、死を、世の人々と同じように忌まわしいもの、できれば考えたくないことではなく、いつか来る人生の最期の試練として、しかし命の主が伴ってくださる試練として受け止める者とされていきます。この試練に打ち克つ希望を聖書を通して学んでいくことによって、わたしたち一人一人が、聖書的な終活（人生の終わりのための活動）をしていけるのではないのでしょうか。それはわたし個人のことではなく、わたしたちの死を通して、愛する家族や友人への信仰の証となるのです。

信仰を与えられた者は、死に立ち向かう勇気を与えられます。その勇気をもたらすのは神の御言葉・神の約束です。わたしたちはすでに永遠の命を与えられております。それがどれほど素晴らしい恵みであるのかを共に分かち合うことによって、新しい命に生きる教会として強められる機会としていきたいと思っております。